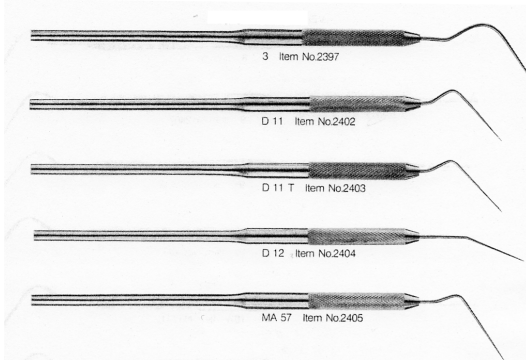


スプレッター

【形状・構造及び原理等】

〔形 状〕

柄部全長123±1mm



〔原材料〕

ステンレス・スチール製

〔原 理〕

本品の針部は先細で、断面は円形になっており先端は尖鋭になっているため、針部に熱を加えた後、根管壁にガッタパーチャポイントを軟らかくしながら圧接充填が出来ます。

【使用目的又は効果】

先細の作業部分をもち、横断面が円形で先端が尖鋭な歯科用器具をいう。充填物を根管に圧接（主に側方）するために用いる。

【使用方法等】

- ①歯牙根管内にガッタパーチャポイントを差し込みます。
- ②本品の針部に熱を加え、ガッタパーチャポイントを根管の側壁に圧接します。
- ③圧接により生じた空隙にアクセサリポイントを充填して根管を密封します。

【使用上の注意】

〔使用注意〕

- ①本品は未滅菌品であるため、使用に際しては必ず洗浄し、【保守・点検に係る事項】に記載する滅菌条件又は医療機関により確認され、検証された滅菌条件において滅菌を行うこと。
- ②次亜鉛素酸ナトリウム、塩化ベンザルコニウム、塩化ベンゼトニウム、ポピドンヨード、ホルマリン・フェノール、グルコン酸クロルヘキシジン等は金属腐食を起こす恐れがあるので、使用しないこと。
- ③家庭用洗剤は金属を腐食させることがあるので使用しないこと。洗浄には歯科用防錆洗浄剤を使用すること。
- ④酸化水（超酸性水）等は、金属を腐食させることがあるので使用しないこと。

- ⑤使用後は、防錆洗浄液、精製水等を用いて器具に付着した血液、体液、組織片等を速やかに除去すること。
- ⑥薬液消毒を行う場合は、薬剤の添付文書に書かれた使用上の注意を守ること。薬剤の種類によっては、金属に影響を及ぼすことがあるので注意すること。
- ⑦加熱滅菌器（高圧蒸気滅菌器等）の乾燥温度に注意すること。高温の乾燥は器具が変質又は変色することがあるので注意すること。
- ⑧洗浄、消毒、滅菌後の器具は水分を除去し、充分乾燥させてから保管すること。水分が付着したまま長時間放置すると錆、シミ等の原因となることがあるので注意すること。
- ⑨錆や腐食の原因となるので、洗浄の際は磨き粉や金属ウール、金ブラシ等を使用しないこと。
- ⑩「もらい錆」が発生する恐れがあるので、錆びている器具と一緒に保管しないこと。又、化学薬品と一緒に収納・保管しないこと。
- ⑪器具の寿命を著しく低下させるので、粗雑な取扱いはいししないこと。

【保守・点検に係る事項】

〔滅菌条件〕

本品使用後は、水洗の後、超音波洗浄器、清掃液、消毒剤などにより付着物を完全に除去した後、十分に乾燥させ、下記に記載する条件又は医療機関により確認され、検証された滅菌条件において滅菌を行うこと。

滅菌方法：高圧蒸気滅菌

滅菌条件：温度132℃、時間10分以上

〔使用者による保守・点検事項〕

使用前・使用後は本品に破損、ひび、割れ、凹凸、錆、傷、腐食、変形等を確認し、異常が認められた場合には使用しないこと。

**【製造販売業者及び製造業者の氏名又は名称】

製造販売業者：株式会社 茂久田商会

連絡先：https://www.mokuda.co.jp

製造業者：デンタールーイズ社/アメリカ

DentalEZ, Inc., StarDental Division/USA